

I. 序章

1 計画の目的

花巻市では、多くの地方都市と同様に急速な少子高齢化が進む中で、拡大を続けてきた市街地における居住の低密度化が進んでいることから、医療、福祉、子育て、商業等の生活サービスの水準を維持することが難しくなっているという問題に直面しています。

そこで、平成 28 年 6 月策定の「花巻市立地適正化計画」においては、総合的な公共機能再編やゆるやかな居住の誘導により既成市街地の人口密度を保ち、誰もが安心、快適に生活できる魅力的なコンパクトシティを再構築し、維持していくための方策を示しています。

コンパクトシティの実現には、居住機能や福祉、医療、商業等の都市機能を拠点市街地へ効果的に誘導するとともに、それぞれの拠点を公共交通ネットワークで結び、円滑な移動を可能にする交通幹線軸を維持することが必要となってきます。特に高齢者や学生にとって、公共交通は日常生活を送る上での重要な基礎的インフラの役割を担っています。

その一方で、公共交通事業を取り巻く環境は、自家用車主体の生活スタイルの定着、人口減少と高齢化、ドライバーの不足、財政の悪化などにより厳しさを増しています。

このような背景を踏まえ、本市では、市民の安心・快適な生活をサポートする公共交通網を形成・維持していくこと、さらにそれが本市を訪れる観光客にとっても利便性の高いものとなることをめざして、「花巻市地域公共交通網形成計画」を策定します。

なお、計画の策定にあたっては、現状における公共交通の運行・利用状況の調査分析及び利用者ニーズの把握によって、より効果的な方策を検討した上で、コンパクトシティの実現と持続可能な適正規模の地域公共交通網の形成を目標とします。

2 計画の位置付け

「都市計画マスタープラン」及び平成 28 年 6 月策定の「花巻市立地適正化計画」における、あるべき姿やそれに向けた取り組みを実現、維持していくために、各計画の内容を継承し、整合を図りながら本計画を進めていくこととします。

図 計画の位置付け

